

イワウメヅル

Celastrus flagellaris Rupr.

ニシキギ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

落葉つる性木本。一、二年枝に乳頭状突起を密生し、托葉がとげになって残ることや、葉に芒状の鋸歯があることで同属のツルウメドキと区別できる。花は葉腋に1～3個ずつ生じ、5弁花で黄緑色。果実は球形で径6mm内外で黄熟し、突起状の花柱が残る。仮種皮は橙赤色で美しい。

国内分布

本州(関東以西)、四国、九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

雌雄異株。花期は5～6月。

生育環境

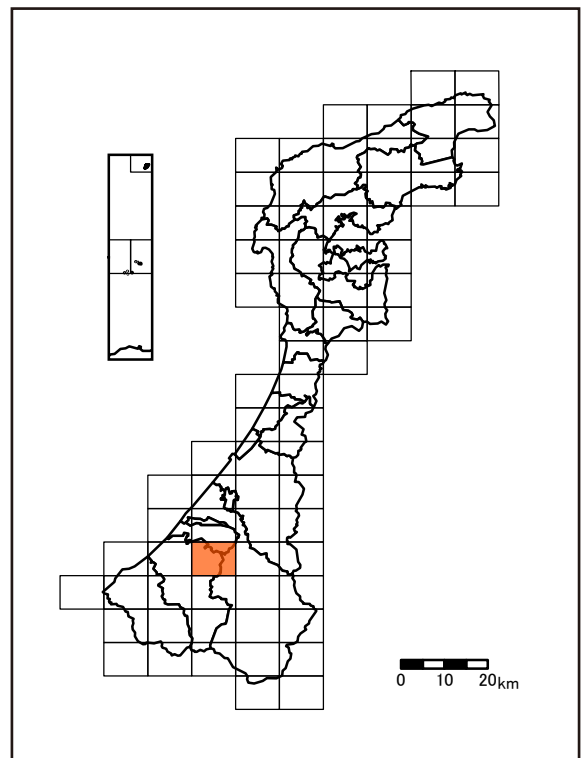
山地の林内。

危険要因

森林伐採、道路工事、産地局限。



白井伸和・2002年7月30日



県内の分布